



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 新明和工業株式会社

コード番号 7224 URL <http://www.shinmavwa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 大西 良弘

問合せ先責任者 (役職名) 社長室 秘書・広報グループ長

(氏名) 武内 拓

TEL 0798-56-5002

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	143,891	9.4	11,947	29.2	12,100	22.2	7,766	24.9
27年3月期第3四半期	131,538	13.9	9,246	39.3	9,902	37.5	6,218	32.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 7,786百万円 (10.5%) 27年3月期第3四半期 7,047百万円 (25.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	77.92	—
27年3月期第3四半期	62.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第3四半期	180,045		112,243		62.3
27年3月期	182,167		105,958		58.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 112,157百万円 27年3月期 105,865百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
28年3月期	—	7.00	—		
28年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	6.1	16,000	17.3	16,500	14.8	11,000	20.1	110.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は【添付資料】4ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	100,000,000 株	27年3月期	100,000,000 株
28年3月期3Q	324,189 株	27年3月期	319,254 株
28年3月期3Q	99,678,672 株	27年3月期3Q	99,687,916 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の増加を背景に、設備投資や個人消費が底堅さを維持したものの、新興国を中心とする海外経済の景気減速に対する懸念が先行きに不透明感をあたえるなど、不安を抱えた状態で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、新たな3カ年の中期経営方針の運営を開始し、「事業基盤の堅持と『殻』を破る新たな挑戦」を基本方針として、企業価値の更なる向上に向けた諸施策を実行いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は144,405百万円(前年同期比1.6%増)となり、前年同期に比べ為替が円安で推移したことが航空機セグメントの増収につながったほか、特装車セグメントにおいて増産投資等により需要に対応したことなどから、売上高は143,891百万円(同9.4%増)となりました。

損益面は、為替の円安での推移が寄与したことなどから、営業利益は11,947百万円(同29.2%増)、経常利益は12,100百万円(同22.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,766百万円(同24.9%増)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。なお、各セグメントの受注高及び売上高には、セグメント間の内部受注高及び内部売上高を含んでおります。また、文中の受注(高)及び売上(高)の増減は、前年同期との比較であります。

#### 航空機セグメント

防衛省向けでは、機体部品の受注が増加したほか、US-2型救難飛行艇の製造が進捗したことから、受注、売上ともに増加いたしました。

また、民需関連は、為替が円安で推移したほか、ボーイング社向け製品の受注及び売上機数が増加したことなどから、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は29,759百万円(前年同期比32.7%増)、売上高は33,139百万円(同13.7%増)となり、営業利益は5,830百万円(同35.3%増)となりました。

#### 特装車セグメント

車体等の製造販売では、建設関連車両の需要が極めて高い水準だった前年同期に比べ受注は減少したものの、物流及び環境関連車両の需要は底堅い状態が継続したことなどから、売上は増加いたしました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに前年同期並みの水準となりました。

このほか、林業用機械等は、前期に引き続き高水準を維持し、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は58,372百万円(前年同期比14.2%減)、売上高は64,473百万円(同6.4%増)となり、営業利益は5,818百万円(同6.0%増)となりました。

### 産機・環境システムセグメント

流体製品は、ポンプなどの機器及びシステムが堅調に推移したことなどから、受注、売上ともに増加いたしました。

また、メカトロニクス製品は、真空成膜装置の受注が減少したことなどから、受注、売上ともに減少いたしました。

このほか、環境関連事業は、運営管理業務の受託等により受注が増加し、廃棄物処理施設の工事進捗等により売上も増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は23,717百万円(前年同期比2.3%増)、売上高は19,000百万円(同21.0%増)となり、営業利益は94百万円となりました。

### パーキングシステムセグメント

機械式駐車設備は、都市部での需要に回復の兆しがあることなどから、受注、売上ともに増加いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は22,999百万円(前年同期比12.2%増)、売上高は20,462百万円(同9.8%増)となり、営業利益は1,279百万円(同38.2%増)となりました。

### その他

建設事業において、受注は増加し、売上が減少したことなどから、当セグメントの受注高は11,959百万円(前年同期比21.7%増)、売上高は8,950百万円(同6.9%減)となり、営業利益は460百万円(同192.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、たな卸資産は増加したものの売上債権を回収したことなどにより前連結会計年度末に比べて2,121百万円減少し180,045百万円となりました。負債は、法人税等の納付や、仕入債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べて8,406百万円減少し67,801百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べて6,284百万円増加し112,243百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の58.1%から62.3%に上昇いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年7月30日に公表した業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,920	15,292
受取手形及び売掛金	77,519	67,496
商品及び製品	2,635	3,063
仕掛品	23,274	24,753
原材料及び貯蔵品	12,955	15,620
その他	7,399	7,266
貸倒引当金	△38	△14
流動資産合計	136,664	133,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,874	11,515
その他（純額）	15,967	17,106
有形固定資産合計	27,841	28,621
無形固定資産		
	2,164	2,283
投資その他の資産		
その他	15,557	15,721
貸倒引当金	△61	△59
投資その他の資産合計	15,496	15,661
固定資産合計	45,502	46,567
資産合計	182,167	180,045

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,214	30,889
短期借入金	188	—
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	4,253	688
製品保証引当金	45	50
工事損失引当金	2,628	2,711
その他	19,125	16,740
流動負債合計	60,457	53,081
固定負債		
長期借入金	2,000	1,000
退職給付に係る負債	10,166	10,439
その他	3,584	3,280
固定負債合計	15,750	14,719
負債合計	76,208	67,801
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,737
利益剰余金	72,736	79,007
自己株式	△145	△151
株主資本合計	104,310	110,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,095	2,151
土地再評価差額金	△378	△378
為替換算調整勘定	692	525
退職給付に係る調整累計額	△854	△716
その他の包括利益累計額合計	1,554	1,581
非支配株主持分	93	86
純資産合計	105,958	112,243
負債純資産合計	182,167	180,045



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	131,538	143,891
売上原価	107,396	116,622
売上総利益	24,141	27,269
販売費及び一般管理費	14,895	15,321
営業利益	9,246	11,947
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	77	98
持分法による投資利益	218	10
保険配当金	171	178
為替差益	176	—
その他	80	114
営業外収益合計	739	417
営業外費用		
支払利息	28	21
為替差損	—	153
休止固定資産費用	20	17
その他	33	71
営業外費用合計	82	263
経常利益	9,902	12,100
特別利益		
投資有価証券売却益	123	24
特別利益合計	123	24
特別損失		
固定資産処分損	151	113
特別損失合計	151	113
税金等調整前四半期純利益	9,875	12,012
法人税、住民税及び事業税	2,730	3,171
法人税等調整額	928	1,073
法人税等合計	3,659	4,244
四半期純利益	6,215	7,767
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,218	7,766

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	6,215	7,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450	56
為替換算調整勘定	141	△157
退職給付に係る調整額	197	138
持分法適用会社に対する持分相当額	42	△19
その他の包括利益合計	831	18
四半期包括利益	7,047	7,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,046	7,793
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への売上高	29,149	60,608	15,699	18,609	124,067	7,471	131,538	—	131,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4	7	24	36	2,143	2,180	△2,180	—
計	29,149	60,612	15,707	18,633	124,103	9,615	133,718	△2,180	131,538
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,309	5,489	△156	925	10,568	157	10,726	△1,479	9,246

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,479百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,452百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への売上高	33,139	64,467	18,996	20,454	137,059	6,832	143,891	—	143,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	3	7	16	2,117	2,134	△2,134	—
計	33,139	64,473	19,000	20,462	137,075	8,950	146,025	△2,134	143,891
セグメント利益	5,830	5,818	94	1,279	13,022	460	13,482	△1,535	11,947

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,535百万円には、セグメント間取引消去△49百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,485百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。